

苦情解決への取り組み

平成 25 年度

「特定の子だけが優しくされる」「いじめられる」「お小遣いを増やしてほしい」「室内ブルペンを作してほしい」「ドラゴンズ選手に来てほしい」など投書があった。特別な課題を抱えている子に個別対応をすることが不満につながっており、投書のある都度、かかわりを持ち心の安定を図った。いじめに対しては、関係する子どもたちを交えて話し合いをした。「お小遣い・ブルペンは現状では難しい。ドラゴンズ選手はスケジュールが合わず来れない」と児童全体会で伝えた。